

特定非営利活動法人

スペシャルオリンピックス日本・愛媛

事務局／〒790-0967 松山市拓川町3番44号

TEL／089-941-5630

2015年 3月 15日発行

オレンジスピリット No.9

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛

2015年度 総会報告

2月22日（日）、松山市青少年センターで定例総会が開催されました。
日頃からご支援いただいている、連合愛媛様をご来賓としてご出席くださいました。
今年は役員改選期の年で、新しく理事長に山本万喜雄が選出されました。

「どうぞ よろしく！」



このたび、スペシャルオリンピックス日本・愛媛の総会で新しい理事長に選ばれた山本万喜雄です。会員の皆様にとっては初めての出会いになるので、少しか自己紹介をさせていただきます。私はこの40年程愛媛大学教育学部で、また昨年の春からは聖カタリナ大学で働いています。この間、2003—2007年にかけて附属養護学校（現特別支援学校）を併任し、そこで子ども観が鍛えられました。私は、ゆったりと時間が流れる学校、ピュアな子どもたちが好きでした。

さてこの特定非営利活動法人のことは、「風のたより」で少し知っていました。しかし、SOアスリートたちの活動について、県民の皆さんが十分知っているとは思えません。今まで以上にファミリー、ボランティアの方々のご協力、理事会の支えが必要になります。理事会といえば、立川百恵前理事長には本当にお世話になりました。お礼を申し上げます。

今後は顧問としてサポートをしていただきたいと思います。

皆様、どうぞよろしくお願ひします。 （理事長 山本万喜雄）



● 新役員 （敬称略）

理事	石原 実	大上 俊輔	小川 純人	小澤 美香子	苅田 欣也	澤田 公子
	塩崎 晃英	末松 茂	杉本 太一	野島 貴文	橋本 治子	日野 二郎
	松井 宏治	村上 千恵美	山内 幸子	山本 万喜雄		
監事	岩城 一範	近藤 猛	顧問	下田 正	立川 百恵	

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛

2015年度総会報告

● 2014年度主な活動報告

1/19(日) ボウリング競技会
スポーツプログラム (毎月)
2/23(日) 2014年度通常総会・第1回理事会
3/ 1(土) 中国・四国認定コーチ研修会(山口)
3/20~3/22 ナショナル大会トーチラン 分火式
4/12~4/13 地区連絡会議・事務局長会議(東京)
5/25(日) 県障害者スポーツ大会(陸上)
6/ 8(日) 県障害者スポーツ大会(ボウリング)
7/ 5(土) 県障害者スポーツ大会(水泳)
9月~10月 トーチラン・ナショナルゲーム壮行会
11/ 1~11/ 3 第6回ナショナルゲーム(福岡)
11/30(日) チャリティゴルフ

● 2015年度活動計画

1/18(日) 第8回ボウリング競技会
2/22(日) 2015年度通常総会、第1回理事会
3/ 1(日) 水泳コーチクリニック
5/24(日) 県障がい者スポーツ大会(陸上)
6/ 7(日) 県障がい者スポーツ大会(ボウリング)
7/ 4(土) 県障がい者スポーツ大会(水泳)
8月 SOデー
9月 チャリティゴルフ大会
毎月 スポーツプログラム

● 2015年度予算書

収入の部 (単位:円)

科目	予算	備考
会費収入	1,660,000	正会員入会金/正会員会費収入/賛助金収入/法人会費収入
寄付金等収入	1,100,000	寄付金収入/助成金収入/受取負担金
事業収入	100,000	スポーツ参加費収入/その他の事業参加費収入/ノンスポーツ参加費収入
雑収入	10,000	雑収入
収入計	2,870,000	

支出の部 (単位:円)

事業費	2,030,000	人件費/スポーツプログラム費/競技会費/ナショナルミーティング費 コーチ研修費/専門委員会費/行事費/広告事業費/販売物品購入費 減価償却費/地代家賃/光熱水料費
管理費	830,000	人件費/会議費/印刷製本費/光熱水料費/消耗什器備品費 消耗品費/修繕保守費/通信運搬費/旅費交通費/雑費
支出計	2,860,000	



立川前理事長、ありがとうございました。

ランチ紹介!!

松山・東温ランチ

昨年は10月に、堀の内公園で多くの人達の協力のもとトーチランが行われ、11月にはナショナルゲーム(福岡)にも多くのアスリートが、参加し競技に対する意欲を強く感じました。

今年になって1月のボウリング競技会、2月の総会、3月のコーチクリニックと活動が行われ、水泳のコーチクリニックでは水泳の村上コーチが講師として講義をしてくださり、多くの会員が参加して楽しく座学を学びました。

また、受講者の中にはおためし(体験)の方が、受講して下さり大変嬉しく思います。もうすぐ更新の時期ですが、会員も少しずつですが、増えてきてアスリート数も多くなってきていますが、コーチの人員が少なく早急に対応しなくてはいけないのですが、なかなか集まらないのが現状です。

一人でも多くのコーチの人員が増えるように活動して行きたいと思えます。

(松山・東温ランチ長 末松)



笑顔が
いっぱい!



西条ランチ

現在のアスリート数は25名、年齢は16才から36才まで幅広くいます。

見学に来て下さる方も何人かいて、今年度も1名入会されます。アスリートは徐々に増えてきていますが、コーチは現状のままです。陸上に興味のある方は、ぜひご連絡ください。

アスリートはSOの活動だけでなく、色んなマラソン大会や駅伝に参加する人も増え、そこから地域とのつながりも出来て、日頃の練習の成果を試せる機会ともなっております。

今年も西条市駅伝にほとんどのアスリートが参加しました。

(西条ランチ長 村上)



スタート!

みんな頑張りました!



スタート!



たすき渡しは難しい!



もうすぐゴール!

今治ランチ

昨年度はナショナルゲームに、ボウリングで今治ランチより2名のアスリートが参加し、アスリートにとって、とても大きな思い出を作る事が出来ました。

1月の松山での湯築ライオンズクラブさんとのボウリング競技会を終え、本年度も今治ランチではボウリングプログラム等を通して、アスリート、ファミリー、コーチ共々元気に活動をして行きたいと思います。

(今治ランチ 荻田)



ボウリング競技会に参加して!

ボウリング競技会に参加して他県のアスリートとゲームができて楽しかったです。

スペアやストライクが出た時は嬉しかったです。結果は、あまり良くなかったので次の大会迄に練習して頑張ります。応援して頂いた皆さんに感謝してます。ありがとうございました。

(今治ランチ 矢野由貴奈)



新居浜ランチ

新居浜ランチはバドミントンと水泳のプログラムを行っており、スペシャルオリンピックス以前からの活動を含め10年になります。

昨年、福岡で行われたナショナルゲームには バドミントンに2名が参加し優秀な成績を残しました。バドミントン・水泳共に熱心に指導下さるコーチ・ボランティアに支えられ、本当に和やかな中でも、アスリートのスキルは目に見えて向上しています。

また、プログラムだけでなく今年で4回目を迎えた、地域の障がい者・一般の学生を交えたフレンドシップ競技会(写真)や、キャンプ・クリスマス会のイベントでボランティア・コーチ・ファミリーの親睦を図っており、今後もアスリートを中心に地域と共生しながら活動したいと思っています。

(新居浜ランチ 村上)



▲ フレンドシップ競技会にて

『おもちゃの図書館 モモ』

「モモ」は、ゆっくりですが、楽しみながら活動をしています。定例会では、子供たちが笑顔で遊んでいる姿を思い浮かべながら、フェルトなどを使っておもちゃ作りを楽しんでいます。これまで、4度、出前おもちゃ図書館を開きました。たくさんのご家族に喜んでいただき嬉しく思いました。しかし、残念なことに、障がいをおもちのお子さんとの出会いがありませんでした。来年度は、事前に特別支援学級などにお知らせして遊びに来ていただこうと思っています。おもちゃや本の貸し出しもしますので遊びに来てくださいね。



(世話人代表 渡邊)



▲おもちゃの図書館 モモの旗



▲フェルトで作った釣り堀



『おもちゃの図書館 モモ』が目指しているのは・・・

- ☆ 障がいのある子ども、気兼ねせず、共に遊び、交流し、育ちあう場にしていきたい。
- ☆ 一人ひとりの違いを認め合い、「共に生きる」ことを目指していきたい。
- ☆ 親御さん同士の交流も深めていきたい。
- ☆ ヤングアスリートの育成につなげていきたい。

水泳コーチクリニック開催!!

3月1日(日)松山中央公園プールにて、スペシャルオリンピックス日本 コーチクリニックを開催いたしました。ゼネラルコーチに森田隆信トレーナー、村上卓也ヘッドコーチに、ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解・水泳競技を講義していただき、45名の参加者が楽しく座学を学びました。



▲ 森田 隆信トレーナー



SOの主旨が、今まではっきりわからなかったけど 座学でよくわかりました。

アスリート理解では、我が子に当てはまるものがたくさんあってずいぶん納得させられました。

実技では、泳ぎ方を経験できてよかったです。

(SOの新規加入者より)



▲ 村上 卓也ヘッドコーチ



SON・愛媛では、アスリート、ボランティアさんを大募集しています。

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障がいのある人達にスポーツ活動を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

活動の始まり

1962年に、故ケネディ大統領の妹ユニスシュライバーが自宅の庭を開放して始めたサマーデイキャンプ、スペシャルオリンピックスの始まりです。知的障がいがある人達にもスポーツを楽しむ機会を提供したい、という彼女の願いを込めたこの運動は、1968年にはジョセフ・P・ケネディ財団の支援を受けて組織化され、全米から全世界へと急速に広がっていきました。

また、スペシャルオリンピックスは、国際オリンピック委員会（IOC）から、オリンピックの名称使用を正式に認められている活動です。

スペシャルオリンピックスの使命

知的障がいのある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと協議の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と才能や技能や友情を分かち合う機会を継続的に提供することである。

「できること」がいっぱいつまったスペシャルオリンピックス!!

アスリート・・・として

SOのスポーツ活動に参加する知的障がいのある人を「アスリート」と呼んでいます。知的障がいのある6歳以上の人なら誰でもアスリートとして参加する資格があります。

コーチ・・・として

スポーツトレーニングのプログラムでは、多くのコーチが活躍しています。専門的な技能や競技経験がなくても、大丈夫です。コーチ育成のための研修会も開催しています。

ボランティア・・・として

SOは、ファミリーとボランティアがともに活動することで成り立っています。コーチ、事務局運営、寄付、応援等でできることをできる時間でご参加ください。

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛

SON・愛媛 事務所

〒790-0967

松山市拓川町3番地44号 日野学園内

TEL・FAX 089-941-5630

メールアドレス: son_ehime@son.or.jp

SON・愛媛 HP: <http://www.son-e.com>

発行 スペシャルオリンピックス日本・愛媛

昨年は、大きな大会ナショナルゲームに参加しアスリートが、また一歩成長したように感じる今日この頃です。

トーチランでは、みなさまにご協力、ご支援をありがとうございました。これからも何卒よろしく願いいたします。(G)



※ このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス四国(株)様にご協力いただいております。